

～アキヒコの気脈と信州の風～

日時 2011.8.20～21

場所 マルタの家
長野県上田市前山 590-2

参加費 全日程参加(ゼミ・交流会・宿泊・朝食込み)・・・13,000 円
ゼミ・・・各1,000 円 交流会・・・3,000 円

◆プログラム

20日(土)

昼食・・・各自で

(マルタの家は、午前中から開放しています。)

13時30分～ ゼミ①②開始 ゼミ詳細は裏面

17時～ 散策

19時30分～ 交流会

21日(日)

別所温泉に朝風呂へ・・・

8時00分～ 朝食

9時30分～ ゼミ③

12時解散

会場「マルタの家」のごあんない

◆電車で

JR上田駅から上田電鉄に乗り換えて「塩田町」駅からバスで龍光院前下車。そこから西へ徒歩1分。

(別所線と、バスが連絡しているのは、あまり本数がありません。)

別所線 上田駅発 10:33 塩田町駅着 10:52

バス 塩田町駅発 10:52 龍光院前 11:03

別所線 上田駅発 11:58 塩田町駅着 12:18

バス 塩田町駅発 12:18 龍光院前 12:29

http://www.uedabus.co.jp/teiki_kankou/shuttle_bus.html

◆自動車で

「塩田の館」(観光案内所・そば処・上田市前山 554 番地 12)の向かいです。ここを目指してお越しください。別紙の地図もご参考にしてください。

<http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/sys/20091103000001124.html>

当日の連絡先・・・米沢(090-9298-2324)

佐野(080-5146-7928)

ゼミ① 20日13時30分～15時

玉木明 「3.11とメディア」

玉木明(たまき・あきら) 1940年生まれ。新潟日報記者を経て、フリー・ジャーナリストに。メディアとジャーナリズムのあり方について発言している。著書に「言論としてのニュー・ジャーナリズム」「ニュース報道の言語論」「将軍と呼ばれた男 戦争報道写真家岡村昭彦の生涯」など。新潟県出身。

ゼミ② 20日15時30分～17時 ※ 岡村昭彦の原発に関する発言の録音テープを聴きます

米沢慧「メント・モリ 3.11のいのちの喪失によせて」

米沢慧(よねざわけい) 1942年生まれ。評論家。各地で、医療・福祉関係者や市民を対象にした「いのちを考える・いのちから考える」セミナーを積極的に取り組む。「新ホスピス宣言」(山崎章郎共著)、「病院化社会をいきる」「いのちのレッスン」(内藤いづみ共著)「自然死への道」など。島根県出身。

ゼミ③ 21日9時30分～11時

比留間洋一「岡村昭彦の体育への視点」

比留間洋一(ひるまよういち)1972年生まれ。静岡県立大学国際関係学研究科助教。ベトナムの文化人類学研究(北部村落社会、移民難民・移住労働者)、県立大学の岡村昭彦文庫研究。愛知県出身。

※ 内容、時間については変更もあります。

現地スタッフから

「マルタの家」は山口さんの自宅でもあります。今回、お留守中に「AKIHIKOの会」ならということで、お借りしました。管理も、お1人でされています。そこで、出来れば使われるシーツを持参していただければ、洗濯が助かる！ということです。無理にはありません。食事は、上田の生と死を考える会の方にも、お手伝い頂いて準備します。**差し入れ、大歓迎です！**

塩田平とマルタの家 と猫

今年のAKIHIKOの会・夏ゼミの会場は、信州上田の信仰の山、独鈷山(とっこさん)の麓、塩田平にある「マルタの家」です。近くには、北向観音、安楽寺の八角三重塔、前山寺の三重塔など古寺。古塔が立ち並び別所温泉があります。そして、信濃デッサン館や無言館にも近いです。

この、主人は上田・生と死を考える会の山口多佳士さん。当日は、残念ながらお会いすることは出来ないのですが、快く、この場所を提供して下さいました。「マルタの家」には、「普段、人のために働いて疲れた人が、安らげる場にしたい」という山口さんの亡くなられた奥様の思いがあります。そして、その先には、最期の時も、家族や親しい人が支えあう「ホスピスの家」というような、イメージがあったといひます。

そんな、場所との縁も感じながら、いざや、楽しきまどいせん。

エンジンのなかで見つかったから、「ジンジン」という名前の猫もいます。人に媚びない、よい猫です。在宅中です。

